

抗菌薬等に関する意識調査について

令和2年10月19日～11月1日、いばらきネットモニターを対象に以下のアンケートを実施しました。

○目的

本県における薬剤耐性対策の推進にあたり、抗菌薬や薬剤耐性等への県民の皆様の認識を把握し、今後の取組みの参考資料とする。(令和元年11月にも同様のアンケートを行いました。)

問1 (抗菌薬の認知) 必須

あなたは、「抗菌薬・抗生物質」という言葉を聞いたことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 聞いたことがあり、詳しく知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 3 聞いたことはない

→ **県民の認知度を調査しました。**

問2 (抗菌薬の理解) 必須

抗菌薬・抗生物質の効果について、次の中からあなたが正しいと思うものを全て選んでください。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 咳に効果がある | → × (多くのかぜの原因はウイルス) |
| 2 インフルエンザに効果がある | → × (インフルエンザの原因はウイルス) |
| 3 肺炎に効果がある | → ○ (多くの肺炎の原因は細菌) |
| 4 ウイルスが増えるのを抑える | → × |
| 5 細菌が増えるのを抑える | → ○ |
| 6 熱を下げる | → × |
| 7 せきを止める | → × |
| 8 痛みを抑える | → × |
| 9 上記1～8に正しいものはない | → × |

→ **抗菌薬・抗生物質は、細菌を壊したり、細菌が増えるのを抑える薬です。**

問3 (抗菌薬服用の理解) 必須

抗菌薬・抗生物質の飲み方について、次の中からあなたが正しいと思うものを全て選ん

てください。

- 1 病気の症状がなくなったら、飲むのをやめてよい → ×
- 2 病気の症状がなくなっても、すべて飲み切る必要がある → ○
- 3 患者の都合・判断で、飲む回数や量を変えて飲んでよい → ×
- 4 同じ症状の家族が処方された薬をもらって飲んでよい → ×
- 5 上記1～4に正しいものはない → ×

→ **抗菌薬・抗生物質は多くの種類があり、医師は患者さんに最適な薬を処方します。**

また、薬によって1日に飲む回数や1回に飲む量が異なります。

飲むのを途中でやめたり、飲む回数・量を勝手に変えてしまうと、病気がきちんと治らない恐れがあります。また、残った薬や他人の薬を自分の判断で飲むと、病気に合わなければ効かないだけでなく、思わぬ副作用が出ることもあります。

抗菌薬・抗生物質が処方されたら、医師の指示どおり飲み切りましょう。

問4（残薬の服用）必須

あなたは、今年1月以降、飲み残した抗菌薬・抗生物質又は家族や他人からもらった抗菌薬・抗生物質を飲んだことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 ある（→問5へお進みください）
- 2 ない（→問6へお進みください）

→ **昨年の調査以降の動向を調査しました。**

問5（残薬服用の機会）

（問4で「1 ある」と回答された方にお伺いします。）

どのようなときに飲み残した又はもらった抗菌薬・抗生物質を飲みましたか。50文字以内で記入してください。（例：かぜをひいたとき、熱が出たとき）

→ **実態を調査しました。**

問6（処方の希望）必須

あなたは、今後かぜで医療機関を受診する場合、どんな薬を処方してほしいですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- 1 抗菌薬・抗生物質
- 2 解熱薬
- 3 せき止め
- 4 トローチ
- 5 うがい薬
- 6 たん切り

- 7 鼻水を抑える薬
- 8 痛み止め
- 9 胃腸薬
- 10 その他（30文字以内）
- 11 わからない
- 12 薬は不要

→ 問2で説明したとおり、多くのかぜの原因はウイルスなので、抗菌薬・抗生物質は効きません。

しかし、昨年の調査で、かぜの時に抗菌薬・抗生物質の処方を希望すると答えた方が34.2%であったため、その後の動向を調査しました。

問7（薬剤耐性の認知）必須

あなたは、「薬剤耐性・薬剤耐性菌」という言葉を聞いたことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 聞いたことがあります、詳しく知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 3 聞いたことはない

→ 県民の認知度を調査しました。

問8（薬剤耐性の理解）必須

薬剤耐性について、次の中からあなたが正しいと思うものを全て選んでください。

- 1 薬剤耐性とは、ヒトの体質が変化して、抗菌薬・抗生物質が効きにくくなることである → ×
- 2 薬剤耐性とは、病気の原因菌が変化して、抗菌薬・抗生物質が効きにくくなることである → ○
- 3 薬剤耐性のために感染症が治りにくくなる → ○
- 4 薬剤耐性は、感染症以外の様々な医療にも影響を与える → ○
- 5 上記1～4に正しいものはない → ×

→ 薬剤耐性とは、病気の原因菌が変化して、抗菌薬・抗生物質が効かない、効きにくくなることです。薬剤耐性菌が増えると、これまで抗菌薬・抗生物質を飲めば治っていた感染症が治りにくくなり、手術の実施が困難になるなど、様々な医療にも影響を与えます。

現在、薬剤耐性によって、世界では年間70万人が死亡しています。対策を何も講じなければ、2050年には1,000万人に上り、がんによる死亡者数を上回ると予想されています。